

## 樺戸山系 ピンネシリ (1100m) 待根尻 (1002m)

道民の森一番川コース往復 2022年5月29日(日)

GL:石井

SL:戸島、宇田 成田、笹山、八重樫、内山、佐藤

8:40一番川キャンプ場車3台8名が集合。少し進み登山BOXのある進入禁止のロープが張った前の大きな駐車場に車を停める。来る途中雨も降ったが幸い曇りの伴った晴れという、暑くもなく寒くもない登山日和の山行でした

9:00 4. 3キロの林道を歩きに、舗装はすぐ終わる初めは水溜まりも結構あった、ふきを抱えた三人組が、ふき採りの車がポツポツと停まっている、樹木が薄く開放的で川の音を聞き足元に優しい土道両手ストックノルディックウォーキングですな

9:30休憩でTシャツ姿の人が2名に、その後川流れの凄い力で路肩が削り込まれたところも何か所もあったが歩きには支障ない

10:00登山口着、すぐに川が出現流れも強く深い所もあり大き目の石枯木で足場確保、女性の方がスリッパ両膝まで濡れたが大丈夫、この後2回の渡渉がありだが一回目より容易で慎重に渡れば特に問題なし、作業道跡の道で少々荒れて軽い登りも出てくる、山菜が期待できる道で時々小枝が道を塞ぐがたいしたことはない、

11:20ちょっとした広場の分岐に出た標識方向の右に、道幅が狭くなり傾斜がきつくもなり山道っぽくなる、丸太階段出現この丸太、山頂近くまで断続的に続いていて登りやすかったキャタピラ道だったのかな。

豊富な種類の花々が次から次と現れ頂上近くまで途切れることなく小花大振りの花が咲きほころ目を楽しませてくれる、花々に飾られた道でたまらなくいいね

12:20ピンネシリ、待根尻分岐着、少し風が強く肌寒い、ここから一気に高度を上げる登山道を進む黒く輝く日本海が見える

12:55ピンネシリ頂上着、巨大なレーダーを背に記念写真、広い石狩平野が見渡せる遠くの山並みは裾野が見えるが厚い雲に覆われていた、昼食です。

13:30待根尻に、途中砂金沢コースからの若い男女二人組に会う13:45分岐に戻り急な登山道から

14:00待根尻山着、U氏がストック一本無しに気づき再びピンネシリに、少し分岐で待って合流、おおーかなりハイペースの往復ですね、見つからず三回目の川の所でありでした、

14:30下りに、丸太橋も終わりお楽しみの山菜ロードにたけのこ、次にうど、そしてふき、食べごろのうど新鮮なふきと選んでいくので、せわしなくあわただしいがこれまた楽しいのかな、

川は靴の濡れを気にしないでジャブジャブ横切って渡る

16:15登山口に、まだ先は長いワイワイガヤガヤの歩きですな、段々足が重くなり痛めた股関節がまた痛くなりそう、山菜を抱えて笑顔で

17:10駐車場到着、ここで解散となる

リーダー登山計画書準備、山でのいろいろな気遣い安全登山ありがとうございました。  
運転の方には往復長距離運転お疲れ様でした。心より感謝申し上げます。

記録 佐藤



登山口



一回目の渡渉



二回目の渡渉



三回目の渡渉



ピンネシリ山頂にて



待根尻山頂 後ろは隈根尻



最後の渡渉



駐車場に到着